

活 動 報 告 書

報告者 叶内 恵子

参加したセミナー：市町村議会議員研修[5日間コース]新人議員のための地方自治の基礎

講 師：野田 遊（同志社大学大学院総合政策科学研究所）
江藤 俊昭（山梨学院大学大学院社会科学研究科長）
荒井 崇（東北大学大学院法学研究科・公共政策大学院）
金崎 健太郎（関西学院大学法学部）
山田 裕一（白石市長）

5月14日（月）

- ①14：00～15：30 受付
- ②16：00～17：00 開講式
開講オリエンテーション
入寮オリエンテーション

5月15日（火）

- ③ 9:25～12：00 講義] 地方自治制度の基本について :野田遊
- ④13：00～17：00 講義] 地方議会制度と地方議会改革の課題について :江藤俊昭

5月16日（水）

- ⑤ 9:25～12：00 講義] 地方議員と政策法務 :荒井崇
- ⑥13：00～15：30 演習] 条例演習・意見交換 :荒井崇
- ⑦15：50～17：00 演習] 意見交換・全体討議 :荒井崇

5月17日（木）

- ⑧ 9:25～15：30 講義] 地方議員と自治体財政 :金崎健太郎
- ⑨15：50～17：00 演習] 意見交換・質疑応答 :金崎健太郎

5月18日（金）

- ⑩9:25～12：00 講義] 分権時代の地方議員に期待されていること :山田裕一

受講費用：15,600 円(別紙領収証あり)

[調査研究の活動報告]

5月15日

地方自治制度の基本について

公の概念の変容

- ・1980年代～1990年代は、NPM（ニューパブリックマネジメント）市民は客体、政府・行政が主体
- ・1990年後半からガバメント（支配する側と支配される側とい概念）からガバナンス（多様な主体で皆で管理するんだ）という概念に変容した。市民は客体であり主体である、政府・行政も主体である。
- ・政府に対する不信から住民を主役に据えて行政や議会との新しい関係を築き、より良い自治の運用秩序を目指す運動が起きてきた。

首長の優位性

- ①自治体の統括 ②再議請求 ③専決処分 ④予算の提出権 ⑤執行機能

首長のもとに組織がある。

議会の機能

- ・代表機能・・・市民全体の代表となっているか。
- ・政策立案機能・・・提案を議決するのみになっていないか。立法機関としてその機能を働かせなくてはならない。
- ・監視機能・・・ここに議会の優位性がある。キッチリと発動するべき

地方議会制度と地方議会改革の課題について

議会の存在意義＝討議と決定（政策立案、討議、決議、監視）⇒委員会から議会の意思をまとめ上げる議員同士の討議が必要。住民を巻き込んだ議論が必要。

住民に開かれ住民参加を促進し、(閉鎖的ではなく!)、首長とも切磋琢磨し(与党野党関係は存在せず、監視と政策立案の役割を発揮しつつ、議員の質問に対する執行機関からの反問権も認める!)、議会の存在意義である議員同士の討議と議決(質問のいいっぱなしではなく!)を重視する議会である。

5月16日

政策法務とは

政策法務の意義

- ・自治体における「政策」当該自治体が目指していく目標とその目標達成のための戦略
- ・自治体における「法務」条例や規則を制定する「立法法務」、既存の法令や条例を解釈・運用する「解

積法務」、自ら起こした訴訟又は住民等から起こされた訴訟に対応する「訴訟法務」、国等に対して提言を行う際に法的な理論武装を行う「政策提言法務」等、およそ法的な観点をもつ仕事全般を含むもの。

地方自治体において、なぜ政策法務が必要なのかを戦前の地方自治制度から第2次分権改革までの流れを学習した。

議会基本条例を各自治体議会の条例を分析し、条例の立案をグループごとに行う。

5月17日（木）

地方議員と自治体財政

自治体予算の原則、チェックポイント

例)

- ・ 地方自治体の課税自主権
- ・ 地方交付税の算定方式
- ・ 地方債・地方債発行に関する制限
- ・ 繰出金

5月18日（金）

分権時代の地方議員に期待されていること

地方議員の役割

行政のチェック機能・説明責任・政策立案

地域が衰退するか否かは議会の存在にかかってくる

今回の研修会は新人議員対象のものでした。全国、北は北海道室蘭市から南は北九州市の新人議員 70 名が参加していました。グループ討論をする機会があり、それぞれの議会においての問題課題等を話す機会もあり、私がすごいな~と思ったのは、補正予算に対して、修正動議を新人議員のみで行ったという話でした。法律や予算・決算を理解できていないとできないことだと思いました。

更に、提案された議案一つ一つを丁寧にしっかりと理解し、採決によって住民の未来に影響を与えるという大前提にたって、採決前夜には寝れない程であるべきだし、提出議案の議決後にしっかりとしたイメージが湧いているかなど、胸をつかれる講義の数々でした。より研鑽を積みたいと願いました。

